

頭蓋内内頸動脈閉塞に対する血栓回収療法における IFR 所見に基づく血栓分布分類の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

脳の血管が血栓によって詰まる脳梗塞では、血管の中から血栓を取り除く治療（血栓回収療法）が行われます。本研究では、この治療中に撮影された脳血管の画像を用いて、血栓がどの範囲まで広がっていたかを評価し、その広がり方と治療成績との関連を調査します。

この研究により、血栓の状態と治療の成功しやすさとの関係を明らかにし、将来の脳梗塞治療の向上に役立てることを目的としています。診療録や画像検査結果など、通常診療で得られた情報を用いて解析を行うため、この研究のために新たな検査や治療をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021 年 1 月から 2026 年 5 月までに、当院において頭蓋内内頸動脈閉塞に対する経皮的血栓回収療法を受けた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、脳卒中危険因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙歴等）、脳卒中重症度（NIHSS）、日常生活自立度（mRS）、血液検査結果、頭部 CT、MRI、脳血管造影画像、血栓回収療法に関する情報（使用デバイス、治療時間、再開通状況等） など

使用開始予定日：2026 年 9 月 15 日

研究予定期間

2026 年 9 月 15 日～2028 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

[研究情報管理責任者]脳神経内科 神宮隆臣

[個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 神宮隆臣

住所:熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話:096-351-8000(代表)